

**平成 2 8 年度**

# **事業報告書**

社会福祉法人はーとわーく

# 1 法人本部

社会福祉法人は一とわーくは、特定非営利活動法人は一とわーくの基本理念を継承して、平成27年6月1日に設立されました。その設立の理念と社会福祉法人としての公益性を踏まえ、障害者の方とその家族の方が地域で安心して暮らせるよう、すべての人々を分け隔てなく包み込む社会の実現を目指して、28年度は次の事業を行いました。

事業	事業所名	サービスの種類	開設年月日	指定年月日	利用形態	定員
第二種社会福祉事業	ヘルプステーションここみ	・居宅介護(障害福祉サービス)	H.22.02.01	H.27.08.01	訪問	...
		・重度訪問介護(障害福祉サービス)	H.22.02.01	H.27.08.01	訪問	...
		・同行援護(障害福祉サービス)	H.23.10.01	H.27.08.01	訪問	...
		・介護保険サービス	H.22.04.01	H.27.08.01	訪問	...
	みらい	・放課後等デイサービス(障害福祉サービス)	H.24.11.01	H.27.08.01	通所	10
	ふれも	・生活介護(障害福祉サービス)	H.26.04.01	H.27.08.01	通所	20
公益事業	ヘルプステーションここみ	・移動支援(地域生活支援事業)	H.22.02.01	H.27.08.01	訪問	...
	みらい	・日中一時支援(地域生活支援事業)	.....	H.27.11.01	通所	2
	ふれも	・日中一時支援(地域生活支援事業)	.....	H.27.11.01	通所	2
公益的取組	かりん	・保護者の研修・情報交換 ・障害児の療育支援 ・障害児療育の実践講習	H.28.04.01	...	...	...

注) ① 事業所の所在地は、前橋市川曲町176番地1です。

② 開設年月日は、特定非営利活動法人は一とわーくで指定された年月日を記載しました。

③ 公益事業は、障害福祉サービス事業と一体的に運営しています。

④ 社会福祉制度改革に伴い社会福祉法人に義務づけられた公益的取組については、28年1月より試行し、同年4月より本格的に開始しました。

## 1. 理事会、評議員会等の開催

### (1) 理事会

日時	議題	場所	出席状況
【第1回】 平成28年5月25日 18:15～18:45	① 27年度事業報告について ② 27年度決算報告について ③ 監事監査報告について ④ ふれもの運営規程の変更について	ふれも	・理事 5/6 ・監事 2/2 ・職員 2
【第2回】 平成28年11月30日 18:15～18:40	① 社会福祉法人制度改革について ② 定款変更について ③ 関連規程の変更及び制定について ・定款施行細則の変更について ・役員報酬規程の制定について ・評議員選任(解任)委員会運営規程の制定について	ふれも	・理事 6/6 ・監事 1/2 ・職員 2

日 時	議 題	場 所	出席状況
平成 29 年 1 月 11 日 (書面決議)	① 評議員候補者 (4 名) の推薦について		
【第 3 回】 平成 29 年 3 月 22 日 18:45 ~ 19:05	① 28 年度の補正予算について ② 29 年度の事業計画について ③ 29 年度の当初予算について ④ 今後の施設整備 (土地取得と建物建設) について ⑤ 新たな規程の制定について ・人事考課実施要項 ・業務管理体制整備規程 ⑥ 規程の変更について ・定款施行細則 ・給与規程 ・育児・介護休業規程	ぶれも	・理事 6 / 6 ・監事 2 / 2 ・職員 2

## (2) 評議員会

【第 1 回】 平成 28 年 5 月 25 日 17:00 ~ 18:00	① 27 年度事業報告について ② 27 年度決算報告について ③ 監事監査報告について ④ ぶれもの運営規程の変更について ⑤ 報告事項 ・前橋市の指導検査の指摘事項とそれに対する改善報告について ・中古車両の購入について ・夏季賞与の支給について ・社会福祉法人の制度改革について ・次回理事会・評議員会について	ぶれも	・評議 12 / 13 ・監事 2 / 2 ・職員 1
【第 2 回】 平成 28 年 11 月 30 日 17:00 ~ 18:05	① 社会福祉法人制度改革について ・制度改革の概要について ・新役員等の定数、改選時期及び任期について ・新役員等の候補者について ・理事会での審議対象となる職員人事について ② 定款変更について ③ 関連規程の変更及び制定について ・定款施行細則の変更について ・役員報酬規程の制定について ・評議員選任 (解任) 委員会運営規程の制定について	ぶれも	・評議 11 / 13 ・監事 1 / 2 ・職員 1

	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉充実残額について</li> <li>・5月以降の職員人事について</li> <li>・各事業所の上半期の収支状況及び利用延人員等について</li> <li>・年末賞与の支給について</li> <li>・主な事業・行事等の実施状況について</li> <li>・利用者の事故について</li> <li>・28年度の指導検査予定について</li> <li>・車両整備補助金の配分申請について</li> <li>・今後の会議予定について</li> </ul> </li> </ul>		
<p><b>【第3回】</b> 平成29年3月22日 17:00～18:30</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 28年度の補正予算について</li> <li>② 29年度の事業計画について</li> <li>③ 29年度の当初予算について</li> <li>④ 今後の施設整備（土地取得と建物建設）について</li> <li>⑤ 新たな規程の制定について <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事考課実施要項</li> <li>・業務管理体制整備規程</li> </ul> </li> <li>⑥ 規程の変更について <ul style="list-style-type: none"> <li>・定款施行細則</li> <li>・給与規程</li> <li>・育児・介護休業規程</li> </ul> </li> <li>⑦ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月以降の職員人事について</li> <li>・前橋市の指導検査結果について</li> <li>・定款変更の認可について</li> <li>・評議員選任委員会の協議結果について</li> <li>・新たに設けられる福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）の届出について</li> <li>・今後の会議予定について</li> </ul> </li> </ul>	ふれも	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議 13 / 13</li> <li>・監事 2 / 2</li> <li>・職員 1</li> </ul>

(3) 評議員選任委員会

日 時	議 題	場 所	出席状況
<p><b>【第1回】</b> 平成29年2月8日 18:00～18:25</p>	① 評議員選任について	ふれも	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長</li> <li>・委員 4 / 4</li> </ul>

2. 経営財源の確保

(1) 収支状況の把握

法人事務局による月次試算表等のチェックにより、各事業所の収支状況を的確に把握し、

又、財源確保の基本要件である利用率の向上（定員の充足率の向上等）を図ること等により、適正な経営財源を確保することができました。

## （２）支援費について

- ① 支援費請求においては、利用者数を無理なく増やすこと、請求もれを防ぐこと及び高い基準の加算を取得すること等に力を入れて、財源確保に尽力しました。
- ② 利用者の確保については、ぷれもではほぼ予定どおり達成できましたが、ここみではサービス提供時間数が前年度を若干下回り、みらいでは体調不良等で当日のキャンセルが多かったため、利用人員の増加は目標をやや下回りました。
- ③ 福祉・介護職員処遇改善加算について  
当法人では一番高い基準の処遇改善加算（Ⅰ）を届け出て、職員の処遇改善（定期昇給の実施、賞与の支給、処遇改善手当の支給等）を行い、職員の確保及び定着化に努めてきました。28年度の加算額は次のとおり14,000千円強となっていますが、直接処遇職員の賃金の改善のために、法人全体でプールし、各事業所に同一条件で公平に配分いたしました。

（単位：千円）

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ここみ	950	905	977	956	927	861	1,089	942	968	918	964	1,041	11,498
みらい	66	80	100	78	89	85	88	77	69	68	72	82	954
ぷれも	134	128	137	148	133	126	127	129	128	125	118	161	1,594
計	1,150	1,113	1,214	1,182	1,149	1,072	1,304	1,148	1,165	1,111	1,154	1,284	14,046

- ④ その他の加算について  
ここみの特定事業所加算（Ⅰ）、ぷれもの人員配置体制加算（Ⅰ）、みらいの児童発達支援責任者専任加算等の加算についても、その要件維持に今後とも努めます。
- ⑤ 事業所運営の財政的基盤である支援費を的確に確保して安定した運営を図るためには、利用者のニーズに即したサービスを提供してその信頼を得ることが、今後とも重要な課題となります。

## （３）助成金・補助金等の活用による財源確保

- ① 前橋市生活介護人員配置体制加算補助金（ぷれも） …… 2,354千円
- ② 労働局関係助成金（キャリアアップ助成金等） …… 1,708千円

## （４）積立金の確保

将来の施設整備のための積立金について、本部会計において今年度は新たに11,000千円を積み立てることができ、積立残高は14,000千円となりました。

## 3. 施設整備等

### （１）大規模な施設整備

建物建設及び構築物設置等の大規模な施設整備は、今年度はありませんでした。

### （２）車両の整備

- ① トヨタウイッシュ（1800cc：中古車） 504,320円（ぷれも）

- ② トヨタラクティス（1500cc：中古車） 688,000 円（ここみ）
- ③ トヨタエスティマ（2400cc：中古車） 武藤商会より寄贈（みらい）

(3) その他備品整備（1件10万円以上の設備備品）

- ① オフィスシュレッダー（裁断機） 105,840 円（ふれも）
- ② 空き缶つぶし機 197,640 円（ふれも：上毛新聞愛の募金）
- ③ ワイヤレスアンプシステム 135,648 円（ふれも）

#### 4. 職員人事と人材育成及び人材確保

(1) 職員の採用・退職

（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

		サビ管	ヘルパー	登録ヘルパー	支援員	看護職員	児童指導員	指導員	事務員	その他	計
ここみ	採用		2 (2)	5							7 (2)
	退職	1	1 (1)	4							6 (1)
みらい	採用							2 (1)			2 (1)
	退職							1			1
ふれも	採用				1 (1)						1 (1)
	退職										
合計	採用		2 (2)	5	1 (1)			2 (1)			10 (4)
	退職	1	1 (1)	4				1			7 (1)

注) ① ( ) は常勤職員を再掲しました。

- ② サビ管とは、ここみのサービス提供責任者、ふれものサービス管理責任者、みらいの児童発達支援管理責任者の略称です。
- ③ 看護職員とは、看護師及び准看護師です。

(2) 人材育成

- ① 労働局のキャリアアップ助成金及びキャリア形成促進助成金等を有効に活用して、人材育成に尽力しました。
- ② 研修会・講習会について（別紙1「研修の実施状況」参照）
  - ・各種外部研修会や講習会に積極的に職員を派遣しました。
  - ・内部研修会は年間計画に従いテーマを定めて、1ヶ月に1回実施しました。本研修に欠席したここみの職員には伝達講習等を徹底し、どうしても出席できなかった職員には、レポート提出を義務づけました。
  - ・その他、地域福祉の充実に寄与するため、本年度より県内の事業所と協力して、立松東京福祉大教授（当法人理事）の指導のもとに、「県内事業所との共同実践研究・研修」のとおり、研究・研修を8回開催いたしました。

(3) 人材確保

- ① 法人では職員定着のために、働きやすい職場づくりに尽力し、その効果もあってか平成25年度以降の常勤職員の退職者は、長期療養等の体調不良での退職が2名、その他の理由の退職者が2名の計4名に止まっています。
- ② 法人では、事業所が社会福祉法人の事業所として指定された27年8月より福祉医療機構及び群馬県社会福祉協議会（以下「県社協」という。）の退職共済制度に加入しま

した。これにより正規職員に公務員とほぼ同率の退職金を保障することが可能となりました。又、県社協の退職共済制度には、慶弔金等の福利厚生給付金も付加されているので、職員の福利厚生の充実を図ることもできます。

- ③ その他、人材確保のために福祉・介護職員処遇改善加算を活用して、前年度と同様に常勤職員に2.5ヶ月分の賞与を支給しました。また、非常勤職員に対しても前年度と同様に一定の要件を設けて、夏季、年末及び年度末に5,000円～30,000円を定額支給しました。そして、この加算を利用して28年度より定期昇給を制度化できました。
- ④ 産休・育休の取得しやすい、そしてスムーズに復職できる職場づくりに努め、本年度はみらいで1名、ぶれもで1名の計2名の職員が産休及び育児休業を利用しています。法人では産前の体調に応じて職員の希望に基づいて、短時間勤務を導入し、働きやすい職場作りに努めました。
- これに伴い、中小企業両立支援助成金（育休復帰支援プランコース）も受給することができました。
- ⑤ 今後とも、職員育成や人材確保のために、職場環境や労働条件の改善に積極的に取り組んでいきます。

## 5. 借入金の償還

(単位：円)

借入年度／借入先 (借入目的)	借入額	(a) 期首残高	償 還 額			(a)-(b) 借入残金
			元 金 (b)	利息	計	
平成25年度 独立行政法人福祉医療機構 (ぶれも建設資金)	37,000,000	33,790,000	2,616,000	(0.9%) 293,316	2,909,316	31,174,000
平成26年度 高崎信用金庫 (みらい建設資金)	17,000,000	14,444,000	1,704,000	(1.5%) 202,842	1,906,842	12,740,000
平成21年度～25年度 NPO法人役員 (ぶれも土地代金・建設資金・運営資金等)	37,700,000	34,500,000	1,000,000	無利息	1,000,000	33,500,000
合 計	91,700,000	82,734,000	5,320,000	496,158	5,816,158	77,414,000

## 6. その他

### (1) 地域社会との連携

#### ① 感謝祭の開催 (28年10月1日)

今年度の感謝祭には、昨年度を遙かに上回る地域住民の方々に来所いただき、盛大に行うことができました。これに関連して開催案内パンフレットや御礼については、地元自治会の協力もあり、回覧板を利用して地域住民にお知らせしました。

又、地域の老人福祉施設のご老人にも来所いただき、吹奏楽やフラダンス等の催し物を楽しんでいただきました。

#### ② 近所のレストラン駐車場の借用

夜間のみ営業するレストランの駐車場を、昼間の時間帯に借用することができて、お互いに有効活用が可能となりました。

## (2) 広報活動

### ① 法人機関誌「はーとわーく通信」の創刊

課題であった法人の機関誌を28年12月に創刊することができました。今後は年間に2～3回発行できるように発行体制を整えていく予定です。

### ② 事業所ごとの機関誌については、次のとおり発行しました。

・ここみは従事するヘルパーを対象に「てるてる」を、みらいは利用者及び保護者を対象に「もこもこ」を、又、ふれもも利用者及び家族を対象に「わくわく」を月1回のペースで発行してきました。それぞれが活動状況や行事予定等必要な情報提供の役割を果たしてきました。

・この機関誌については、産休や育休で長期に休んでいる職員に対しても、復職のための情報提供の一環として活用しています。

### ③ 法人のホームページも平成23年に開設され、法人の基礎情報を掲載し、内容についても適宜更新してきました。27年の8月からは、社会福祉法人として義務づけられた決算報告等の必要な情報も公開しています。

また、ブログも開設され、法人や事業所の新たな情報をその都度提供できるよう努めています。

## (3) 賃金及び労働条件の改善

### ① 社会福祉法人の設立時には給与表を導入し、基本給（本俸）を改善するとともに職務・職責に応じたキャリアパスを明示しましたが、今年度は定期昇給を開始しました。

### ② 前年度同様、職員処遇改善加算の活用により、賞与を2.5ヶ月支給することができました。又、同加算により非常勤職員の賞与の定額支給も継続しました。

## (4) 諸規定の制定及び変更

### ① 昨年度は社会福祉法人の設立に伴い、定款及び定款施行細則、経理規程等を準則に基づいて新たに制定しましたが、今年度は社会福祉法人の制度改革に伴い、定款例に基づいて全面的な定款変更を行いました。

### ② それに伴い、定款施行細則についても全面的に改正しました。

### ③ その他、人事考課導入のために人事考課実施要領を新たに定め、役員報酬規程や業務管理体制整備規程についても新たに制定しました。

### ④ 又、就業規則、給与規程、育児・介護休業規程等についても所要の変更を行いました。

## (5) 苦情・要望等の受付・解決状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	サービス 内 容	接 遇	建物設備	被害損害	説明情報 不 足	サービス 費 用	その他	計
ここみ								0
みらい	2							2
ふれも	1				1			2
	3				1			4

※苦情及び要望事項は上記のとおり4件ありましたが、法人内の会議等で十分協議し、その結果をもとに利用者のご家族と誠実に対応して理解を得て解決に努めました。

## (6) リスクマネジメント

### ① 災害対策

災害対策（火災、地震、風水害等）については、避難訓練を法定回数を超えて実施しました。今後は地震を想定した避難訓練や避難経路の確保、家具の倒壊を防止するための固定化等を徹底しなければなりません。

又、当法人は前橋市より地域の障害者の福祉避難所に指定されていることも踏まえて、今後の対策を検討し、訓練や情報提供を行う必要があります。

### ② 不審者に対する対応

前橋警察署の指導のもと9月28日に不審者対応訓練を実施しました。サスマタを使用して不審者を拘束することや大声を出して情報を伝達することなど、普段は体験できないことを学ぶことができました。

### ③ 感染予防

27年度はみらいでインフルエンザの集団感染が発生しましたが、今年度は感染予防に手を尽くして取り組み、集団感染はありませんでした。

### ④ アクシデント（事故）

#### 1) 行政機関への報告事故

○群馬県知事及び前橋市長に報告した事故は、みらいの利用児のポリエチレン手袋の誤飲（嘔吐）事故です。時系列で誤飲の可能性について検証しましたが、二葉特別支援学校の駐車場で送迎車両に乗車してから、みらいの活動室での嘔吐に至るまで、誤飲の可能性は絶対には断定はできませんでしたが、極めてゼロに近いものであると判断いたしました。この件については学校とも協議を致しましたが、原因は究明できませんでした。

○ポリエチレン手袋の誤飲については、障害者施設で窒息死の事例も報告されており、今後2度と起こしてはならない事案であることを関係職員全員で確認し、次のような対策を徹底することとしました。

- ・色付きの手袋を使用する。
- ・玩具は口に入らない大きさの物だけにする。
- ・室内の装飾等について、マグネット等の落下しそうなものは撤去する。
- ・オムツ、おしり拭き、手袋については常に戸棚にしまい、その都度必要な分だけを出すようにする。
- ・ポリエチレン手袋、ティッシュペーパー等誤飲に繋がる物を使用する際は、職員間で声かけを行い、そのものが活動室内にあることを全員で意識できるようにする。また、使用後についても、その旨声かけを行う。

#### 2) その他の事故

- ・車両事故（接触等の軽微な事故）

ここみ 3件    みらい 1件    おれも 3件

- ・その他の事故（利用者の転倒等）

ここみ 1件

### ⑤ インシデント（ヒヤリ・ハット）

ここみ 27件    みらい 1件    おれも 4件

インシデント報告は年間で30件を超える事例が報告されて、回覧等の方法で事故防止に役立てるようにしました。

## 2 ヘルパーステーションここみ

地域で生活している障害者（児）及び高齢者を対象として、個別に必要な支援を提供しました。支援の形態は、居宅での支援、外出支援、生活等に関する相談や助言等に分かれています。ニーズに応じて生活全般にわたる支援を行うことを基本としています。

日々の支援に携わる中で、ヘルパーステーションだけでは請け負えないことに関しては、利用者本人が豊かに生活できることを最優先し、相談支援事業所や訪問看護事業所等との連携を密にして、社会資源の有効的な利用や問題解決に努めました。

利用依頼は多く、既存の利用者からの利用時間増への対応もあり、ヘルパー増員を行わなければならない状況が続いています。

### 1. 利用者の状況

#### (1) 障害支援区分と年齢

(平成29年3月)

	18歳未満	18-20歳	21-30歳	31-40歳	41-50歳	51-60歳	61-70歳	71歳以上	計
区分6		3	12	4	3	1	1		24
区分5			6	1	1	1	1		10
区分4			2		1		2		5
区分3		1	3	1	4	4	6	1	20
区分2			1	4	4	4	9		22
なし	20	1	5			3	3		32
介護保険	...	...	...	...	...	...		6	6
計	20	5	29	10	13	13	22	7	119

注) 同行援護の場合には、全盲（身障手帳1級）の方でも、区分判定なしでサービスが受けられます。

#### (2) 市町村別の利用人数とサービス内容

(平成29年3月)

	前橋市	高崎市	渋川市	吉岡町	榛東村	沼田市	みどり市	江東区	計
居宅介護	34	7	25	5	2		1	1	75
重度訪問介護	1	1							2
同行援護	6		7	1					14
移動支援	24	6	15	2		1			48
介護保険	5		2	1					8
計	70	14	49	9	2	1	1	1	147

注) 居宅介護と移動支援、居宅介護と同行援護等、複数のサービスを重複して利用している方が28人となります。

### 2. サービス内容と提供時間

#### (1) サービスの種類と時間数

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	移動支援	介護保険	計
4月	829	223	220	535	77	1,844
5月	827	186	190	530	80	1,813
6月	864	219	201	535	116	1,935

7月	875	225	196	501	115	1,912
8月	898	163	168	417	88	1,734
9月	912	216	223	466	82	1,899
10月	895	234	217	487	79	1,912
11月	884	192	214	487	82	1,859
12月	881	218	241	447	87	1,874
1月	861	156	220	397	78	1,712
2月	874	228	234	485	61	1,882
3月	992	220	212	429	70	1,923
計	10,592	2,480	2,536	5,716	1015	22,339

(2) 居宅介護時間の内訳

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体介護	451	462	496	466	443	454	435	424	418	417	434	495	5,395
家事援助	286	276	276	305	348	358	364	344	355	348	343	390	3,993
通院介助	92	89	92	104	107	100	96	116	108	96	97	107	1,204
計	829	827	864	875	898	912	895	884	881	861	874	992	10,592

(3) サービス提供時間の推移

(各年度4月1日～3月31日)

	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	移動支援	介護保険	計	対前年比
25年度	8,971	2,788	2,311	4,819	583	19,472	.....
26年度	9,450	2,735	2,713	5,720	699	21,317	1,845
27年度	10,331	2,527	2,784	6,235	1,094	22,971	1,654
28年度	10,592	2,480	2,536	5,716	1,015	22,339	-632

注) 平成22年にここみを開設以来、サービス提供時間は順調に伸びてきましたが、開設以来始めて前年度を下回りました。その原因を分析して次年度以降は、必要があれば改善をしていきます。

3. サービス提供体制

(1) 職員編成

(平成29年3月31日)

職 種	人 数	備 考
管理者	1	サービス提供責任者を兼務
サービス提供責任者	4 (1)	常勤 3名 非常勤 1名 兼務 (1)名
常勤ヘルパー	4	
登録ヘルパー	43	非常勤 43名
事務員	2	常勤 名 非常勤 2名
計	54	常勤 8名 非常勤 46名

注) ① 兼務のサービス提供責任者については、( ) に別掲しました。

② 登録ヘルパーは上記の43名以外に、ふれも及びみらいの所属職員でここみのヘルパーを兼務している職員が10名います。

## (2) 資格の所有状況

(平成29年3月31日)

	介護福祉士	実務者研修 修了者	初任者研修修了者 (ヘルパ°-2級)	計	看護師 准看護師	備考
常勤	4		5	9	1	
非常勤	16	1	28	45	6	
計	20	1	33	54	7	

注) 看護師・准看護師の数は再掲

## (3) 利用者へのサービス

相談支援事業所等からの依頼を受けサービスを提供していますが、9割以上が身体障害者及び知的障害者が占め、最近では地域移行の流れにより、精神障害者の依頼がやや増加の傾向にあります。

### ① 居宅介護

- ・家事援助として掃除、洗濯、調理、買い物等生活全般にわたる援助を、利用者のニーズに応じて行いました。
- ・身体介護としては、入浴、食事介助、排泄、更衣等を個々の身体状況に合わせて支援し、必要な場面では訪問看護や医療機関との連携に努めました。
- ・その他通院介助として医療機関への通院、訪問看護等との連携、他事業所との情報の共有に力を尽くしました。
- ・一人ひとりの障害の状況や家庭状況に合わせた個別支援に重点をおき、健康維持とより豊かな地域生活ができるよう配慮し、他の機関との情報共有と連携に努めました。

### ② 重度訪問介護

常時介護を要する重度肢体不自由者の家事援助、身体介護を行う支援で、ここみでは現在、2名の女性を対象に支援を行っています。起床から始まり、洗面、更衣、調理、掃除、洗濯、食事、外出、入浴、就寝に至るまで、一日の生活全体を支えるトータルな支援を行いました。

### ③ 同行援護

視覚障害により、移動が困難な方の外出支援として、移動に必要な情報の提供、排泄や食事の介護、移動の援護を行いました。日常の必要な支援として買い物、また市役所等の公共機関での諸手続においては、代読や代筆も行いました。

### ④ 移動支援

屋外での移動が困難な障害者（児）に対して、余暇活動等の社会参加及び社会生活を行う上で必要な外出支援を行いました。具体的には、公共交通機関を使っての移動や福祉有償運送による車両を利用し、イベント参加や観光施設、文化施設等の利用、また行政機関での諸手続も支援しました。土日の余暇支援の依頼は相変わらず多く、希望に応えられない状況です。

### ⑤ 介護保険サービス

要支援、要介護の認定を受けた高齢者の家事援助、身体介護を行っています。障害者の支援を行う中で、高齢になったその家族の支援や、障害者が高齢になって障害者総合

支援法から介護保険適用になったケースから始まりましたが、現在は障害のない高齢者の利用も増えています。

入院や入所等で利用が途切れることもありますが、昨年とほぼ同様の支援ができました。

#### (4) 人材育成

① ここみでは短時間勤務の登録ヘルパーが40人を超える一方、100名を超える利用者が担当者ごとに分かれることもあり、連絡調整や情報交換に苦勞しているところですが、利用者ごとのカンファレンスを確実にを行うことによってチームワークを確保するとともに、毎月1回の研修を行うことにより、新しい知識と意見交換によるモチベーションの維持・向上を図りました。

② また、職員教育の一環として、情報誌「てるてる」を毎月発行し、介護に関する知識や技術、行事予定等の情報提供に努めました。この情報誌には、介護従業者としてどのような点に生き甲斐を感じたのか、利用者さんにどのような点を喜んでいただいたのか等について、個々のヘルパーからの寄稿文も掲載しています。

合わせて、日々の介護の中で起こったことはどんな小さなことでも報告できる信頼関係を築き、ヒヤリハット等の報告も数多く提出されており、それを共有することによって事故防止に努めています。

### 3 みらい

授業の終了後又は学校の休業日に、特別支援学校や特別支援学級に通う児童に対し、放課後の集団活動や社会参加活動を行い、その主体性及び社会性を育成して自立の促進を図れるよう、身体的・精神的な状況とその置かれている環境に応じて適切かつ効果的に支援を行えるよう努めました。

発達保障の視点を大切にして職員研修を行い、実践と評価により成長をともに喜び合える支援を行いました。

また、昨年度前橋市及び高崎市と契約し、開始した日中一時支援事業ですが、今年度は藤岡市とも契約をいたしました。

#### 1. 利用者の状況

##### (1) 利用延人数等

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	117	146	160	132	137	151	145	132	116	115	124	139	1,614
1日平均	5.9	7.7	7.3	6.6	6.9	7.6	7.3	6.6	6.1	6.1	6.2	6.3	6.7
開所日数	20	19	22	20	20	20	20	20	19	19	20	22	241

##### (2) 利用延人数の推移

(各年度4月1日～3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度	58	75	77	99	74	84	100	79	85	90	71	88	980
26年度	88	83	99	100	95	93	111	93	99	106	104	119	1,190
27年度	127	110	148	141	119	124	133	123	122	114	126	138	1,525
28年度	117	146	160	132	137	151	145	132	116	115	124	139	1,614

##### (3) 在籍校と学年

(平成29年3月)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
二葉特別支援学校			1	1	1	1	2	1					7
二葉高等特別支援学校										1	2	1	4
県立盲学校					1		1						2
前橋市立特別支援学校				1									1
計			1	2	2	1	3	1		1	2	1	14

##### (4) 日中一時支援の利用延人数

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
前橋市	2		1	6	19					2	1	6	37
高崎市			1	7	8			1	2	1	3	5	28
藤岡市													
計	2		2	13	27			1	2	3	4	11	55

## 2. サービス供給体制

### (1) 職員編成

(平成29年3月)

職 種	人 数	備 考
管理者	(1)	ぶれもの支援責任者が兼務
児童発達支援管理責任者	1	常勤
児童指導員	0	常勤
指導員	5	常勤 2名 (1名育休) 非常勤 3名
看護職員	1	常勤
計	7	常勤 4名 非常勤 3名

### (2) 利用者へのサービス

みらいでは身体障害、知的障害、重症心身障害等様々な障害をもった小学生から高校生まで利用されています。

- ① 定 員 10名 (日中一時支援の定員は2名)
- ② 利用時間 平日 学校終了後～17時 休日 10時～16時
- ③ 休業日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)・夏季(2日)
- ④ 送 迎 各学校へ車で迎えに行き、終了時間に保護者の迎え、もしくは必要に応じて自宅まで送迎を行っています。
- ⑤ 活 動 (日 課) みらい到着後、排泄、手洗い、おやつのおやつ、活動を行います。  
 主な活動は音楽療法、体操、動作法、足浴、おやつ作り、サーキット、誕生日会、散歩等個々の身体的な特性に合わせ、参加できるように工夫をしながら行っています。音楽療法とリトミックに関しては、それぞれ月に1回外部より専門の講師を招いています。  
 長期休暇中は、来所、活動、昼食、活動、おやつ、16時退所となります。  
 夏はプールや遠足、夏祭り、冬はクリスマス会等イベントも企画しました。  
 活動の中で楽しい経験を積み、職員や仲間とのコミュニケーションの中で多くを学び、成長を感じることができました。
- ⑥ 支援記録 支援に関する記録は、事業所独自の伝票(複写)を作り、水分補給や排泄、活動の内容等一日の様子が保護者に分かるように記録し、1枚を利用者、1枚は事業所で保管しています。
- ⑦ 支援会議 相談支援員やご家族と定期的に支援会議を開き、情報交換と状況の把握を行いました。それをもとに、職員間で検討して目標を設定して支援に反映させています。中でも太田ステージを取り入れ、個々の評価を行い、それに合わせた個別課題の設定、実践、評価を支援の中に位置づけて、客観的な指標をもって支援を行うことにより、具体的な支援につなげることができました。

## 4 ぶれも

利用者が自立した日常生活又は社会生活ができるよう、入浴、排泄、食事の介助、創作的活動や生産的活動の機会を提供しています。開所から3年目を迎え、職員の研修と情報共有に重点を置き、生活介護を行う事業所として、技術と知識のレベルアップができるよう心掛けました。

特別支援学校卒業生の利用先として体験利用者を受け入れ、また、福祉関係の大学や専門学校からの実習生の受け入れも引き続き行いました。そして、関係機関や学校関係者、保護者の見学等も積極的に受け入れ、利用者側からの立場と利用施設としての立場を踏まえ、情報提供と現状理解に役立つように努めました。

身体、知的、重症心身障害と様々な障害を持つ利用者の特性を理解し、適切に支援できるように工夫を重ね、28年度は中途利用者2名、特別支援学校卒業生2名を迎えることができました。

また、27年度より前橋市、また、28年度より高崎市の日中一時支援事業を開始しましたが、今年度新たに榛東村とも契約を締結し、来年度より利用が開始されます。

### 1. 利用者の状況

#### (1) 利用延人数等

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	288	274	298	301	277	267	271	272	270	279	255	314	3,366
1日平均	13.7	13.7	13.5	13.7	13.2	12.7	12.3	12.5	13.5	14.0	12.8	13.7	13.3
開所日数	21	20	22	22	21	21	22	21	20	20	20	23	253

#### (2) 利用延人数の推移

(各年度4月1日～3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
26年度	57	118	146	147	122	132	156	137	141	128	143	194	1,621
27年度	195	171	194	218	183	198	239	210	206	195	210	269	2,491
28年度	288	274	298	301	277	267	271	272	270	279	255	314	3,366

#### (3) 障害支援区分と年齢

(平成29年3月31日)

	18-20歳	21-25歳	26-30歳	31-35歳	36-40歳	41-45歳	46歳以上	計
区分6	5	5		1		1		12
区分5	1	2	1		2			6
区分4	1							1
区分3	1							1
計	8	7	1	1	2	1		20

## (4) ADLの状況

(平成29年3月31日)

移動	人数	食事	人数	排泄	人数
歩行可能(自立)	5	自立	9	自立	6
歩行可能(不安定)	2	特殊な食器等で自立		一部介助	5
杖、歩行器		一部介助	4	全介助	9
車椅子	12	全介助	6		
電動車椅子	1	経管栄養(鼻腔)	1	紙オムツ使用	13

## (5) 食事形態

(平成29年3月31日)

食事形態	人数	備考
ペースト食	3	トロミ剤使用
刻み食-1	3	
刻み食-2	5	一口大
常食	8	
経管栄養	1	鼻腔栄養
計	20	

## (6) 居住地

(平成29年3月31日現在)

	前橋市	高崎市	榛東村	計
男	7	1	1	9
女	7	4		11
合計	14	5	1	20

## (7) 日中一時支援の利用延人数

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
前橋市	10	6	12	11	16	10	12	17	8	12	12	16	142
高崎市													
計	10	6	12	11	16	10	12	17	8	12	12	16	142

注) 28年度までは高崎市の利用はゼロでしたが、29年度より利用開始となります。

## (8) 公益的取組(かりん)の概要

## ① 障害児(者)療育支援事業

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催回数	4		2	2		4	2	1	2	1	2	1	21
利用者延人数	8		4	4		8	4	2	4	2	4	2	42

注) 地域の小学校の特別支援学級のお子さん(4年生1名、2年生1名)の療育支援を無料で実施。

## ② お茶会(情報交換会)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

期日	内容	講師	参加者
7月15日	後見人について	ぽっか所長賤津氏	15
11月30日	利用できるサービスについて	希望の家相談員米田氏	16

注) お茶を飲みながらの温かい雰囲気の中で、参加者(保護者)からたくさん質問がありました。

## 2. サービス供給体制

### (1) 職員編成

(平成29年3月31日)

職 種	人 数	備 考
管理者	1	常勤
サービス管理責任者	(1)	管理者が兼務
支援責任者	1	常勤
支援主任	3	常勤 3名 (うち1名は育児休業)
支援員	10	常勤 2名 非常勤 8名
看護職員	2	常勤 1名 非常勤 1名
事務員	1	常勤 1名 非常勤 1名
調理員	2	常勤 1名 非常勤 1名
計	(1) 18	常勤 7名 非常勤 11名

### (2) 利用者へのサービス

- ① 定 員 20名 (日中一時支援の定員は2名)
- ② 利用時間 9時30分～15時30
- ③ 休 業 日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)・夏季(2日)  
ただし、祝日又は土曜日に月1回開所(主にリハビリ活動)
- ④ 送 迎 利用開始時間(9時30分)に間に合うように自宅まで車で迎えに行き、15時30分におれもを出発して自宅まで送ります。
- ⑤ 活 動 (日 課) 来所後、検温、排泄、連絡帳の確認を行い、音楽に合わせて体操をした後、散歩に行きます。  
午前中は主として作業(生産的活動)を行いますが、入浴される方もいます。作業は社会参加のひとつ及びリハビリの一環としてとらえ、全員が参加できるように、一人ひとり身体能力等に合わせて作業内容等を工夫し、達成感が持てる取り組みの一つとなっています。  
昼食は、ゆっくりと十分にとれるよう、食前にはリラクゼーションの時間をとり、また、利用者の摂食能力に合わせて、食事形態もペースト食や刻み食に変えています。  
昼食後は、創作活動等を行い、お茶を飲んで15時30分に退所となります。  
主な作業としてモチーナやシュシュ作り、創作活動としては、季節の行事に関連した製作やアルバム作り、及び買い物等を行いました。
- ⑥ 工 賃 作業やお手伝いで得られた工賃を毎月支払い、店頭販売を依頼しているシュシュの売上は、前年度と同様に賞与として支払いました。
- ⑦ 特別活動 音楽療法とリトミックに関しては、それぞれ毎月1回外部より専門の講師を招いています。  
また、リハビリについても、作業療法士が月1回祝日(又は土曜)に来所し、介助方法、運動、姿勢、変形予防、摂食等のリハビリテーションに関する指導をしてもらい、必要に応じて個別のリハビリテーション活動も実施しました。

クリスマスには、ライオンズクラブの方が来所され、サンタクロースに扮してプレゼントをいただきました。

- ⑧ 健康管理 年度初めには歯科医師会より講師を招き、口腔衛生について学び、利用者一人ひとりの歯磨き指導をしていただきました。  
協力医による健診を2回実施し、インフルエンザの予防接種は、利用者と職員も受けられるよう行いました。
- ⑨ 訓練 火災を想定した避難訓練を2回と、不審者を想定した拘束訓練を実施しました。
- ⑩ 職員体制 職員を「作業」、「創作活動」、「個別課題」の3つの班に分け、それぞれの班で利用者一人ひとりに応じた目標を決めて課題に取り組みました。  
身体の状態や活動状況を考慮して、2つのグループに分けることにより、個々により即した支援ができるようになりました。
- ⑪ 特別行事
- ・ 7月9日 二葉祭に参加してシュシュ等を販売
  - ・ 6月25日 G B G Bのコンサート会場でシュシュ等を販売
  - ・ 8月25日 夏祭り  
感謝祭の次に大きなイベントで、流しそうめん、スイカ割り、ヨーヨー釣りなどを楽しみました。また、視覚障害者施設泉荘の利用者さんだけで構成するパラダイス・フレンドの演奏に、みんなで感動いたしました。
  - ・ 11月8日～10日 けやきウオークでのふれあい販売会に参加
  - ・ 12月23日 ワークショップ 「みんなでテンや線から絵を描こう」  
巨大なキャンパスに思い切り挑みました。
  - ・ 12月26日 クリスマス会（ライオンズクラブのサンタとプレゼント）
  - ・ 1月6日 ミニコンサート（長岡様のピアノ連弾）

### 3. その他

#### （1）実習生の受入

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

期 間	学 校 名	実 習 内 容	人 数
29.01.12～01.25	高崎福祉医療カレッジ	社会福祉主事相談援助実習	1

#### （2）特別支援学校の体験学習・見学等の受入

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

区分	期日（期間）	学 校 名	人 数	備 考
見学	4月22日	二葉高等特別支援学校	1	
体験学習	5月31日	あさひ特別支援学校	1	
見学	6月6日	二葉高等特別支援学校	1	
体験学習	6月14日	あさひ特別支援学校	1	
体験学習	6月21日	あさひ特別支援学校	1	
体験学習	6月23日	二葉高等特別支援学校	1	
体験学習	6月28日	二葉高等特別支援学校	1	
体験学習	6月30日	二葉高等特別支援学校	1	
体験学習	7月14日	二葉高等特別支援学校	1	

見学	8月1日	二葉高等特別支援学校	2	
就業体験	9月12日～13日	しろがね特別支援学校	1	
体験学習	9月20日	あさひ特別支援学校	1	
見学	10月20日	二葉高等特別支援学校	1	
就業体験	1月26日	しろがね特別支援学校	1	
見学	2月9日	二葉高等特別支援学校	1	
見学	2月20日	二葉高等特別支援学校	1	
計			17	

注) ほとんどの場合、担任教師と保護者が同伴です。

### (3) その他の見学者の受入

平成28年4月1日～平成29年3月31日

期日	内 容	人数	備 考
6月22日	社会福祉法人青葉会（千葉県柏市）	3	
6月23日	利用のための事前見学	1	
7月4日	利用のための事前見学	1	
10月13日	誠光荘（渋川市）	3	相談見学
11月16日	利用のための事前見学	1	
11月17日	育英短大（ゼミ）	13	
1月26日	ミニヨン及び沼田市職員	3	
2月3日	利用のための事前見学	1	
2月23日	群馬大学教授茂木氏及び東京福祉大講師手塚氏	2	
3月7日	NPO法人希求（榛東村：グループホーム）	3	

### (4) ボランティアの受入

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

奉仕内容	所属（団体名・個人）
作業活動（花壇維持等）	個人2人（概ね月4回）
日常の介護・支援	医療福祉大（2人）、個人（2人）
行事活動（感謝祭等）	医療福祉大（6人）
特技（歌、踊り、合奏等）	いげみ吹奏団（7人）、フラダンス（4人）、泉荘合奏団（6人）
合 計	

## 研 修 の 実 施 状 況

### 1. 外部研修

期日 (期間)	内 容	場 所	人数
5月13日	障害児通所支援に係る説明会	群馬県立産業技術センター	2
5月13日	社会福法人社経営者協議会総会	ラシーネ前橋	1
5月19日	キャリアアップ助成金セミナー	群馬県公社総合ビル	2
5月20日	障害者・児福祉施設等に係る説明会	前橋市総合福祉会館	2
5月23日・6月6日	移送サービス講習会	群馬県勤労福祉会館	1
6月8日～9日	障害者虐待防止・権利擁護研修	群馬県庁	1
7月8日	全国社会福祉施設経営実務・解説セミナー	灘尾ホール (東京)	1
7月13日	介護サービス事業者説明会	前橋市総合福祉会館	1
7月19日	雇用管理改善促進事業説明会	群馬県公社総合ビル	1
7月20日	社会福祉法人制度改革対応セミナー	群馬県公社総合ビル	2
7月28日・29日	同行援護従業者養成研修 (一般課程)	社会福祉総合センター	1
8月8日・9日	強度行動障害支援者養成研修 (基礎)	群馬県庁	1
8月21日	障害児通所支援における支援の方法	社会福祉総合センター	2
8月30日・31日	強度行動障害支援者養成研修 (基礎)	群馬県庁	1
9月29日・30日	同行援護従業者養成研修 (一般課程)	社会福祉総合センター	1
9月30日	のぞみの園福祉セミナー 2016	高崎シティギャラリー	1
10月3日	新しい総合事業に関する概要説明会	前橋市総合福祉会館	1
10月18日・19日	強度行動障害支援者養成研修 (実践)	のぞみの園	1
10月27日・28日	強度行動障害支援者養成研修 (実践)	のぞみの園	1
11月18日	介護記録等の説明会	リコー群馬支社	2
11月23日・24日	同行援護従業者養成研修 (応用)	社会福祉総合センター	1
11月24日	新型インフルエンザ予防計画作成研修	群馬会館	1
12月2日	社会福祉法人制度改革対応セミナー (後期)	群馬会館	2
12月6日	災害福祉支援ネットワーク構築に係る研修会	群馬県公社総合ビル	1
12月9日	福祉制度改革 地域における公益的取組	JA ビル	1
12月12日	前橋市療育ネットワーク推進会議研修会	前橋第2コミュニティセンター	2
1月13日	福祉の財務規律の強化	群馬県公社総合ビル	1
1月27日	社会福祉法人会計基準講習会	前橋市総合福祉会館	2
2月1日	社会福祉法人の広報力・情報発信力	群馬県市町村会館	2
2月8日・15日	発達障害支援者研修	群馬県庁	1
2月15日	精神障害者の地域移行	健康づくり財団	1
2月17日	社会福祉法人役員等講習会	前橋テルサ	1
2月24日	組織における人材育成について	勤労福祉センター	1
3月23日	障害福祉関係事業者説明会	群馬県民会館	3

## 2. 県内事業所との共同実践研究・研修

期 日	内 容	講 師 等	場 所	人数
5月10日	1年間のスケジュールと研究・研修の進め方	東京福祉大 立松英子教授	みらい	21
5月17日	教材の説明等	東京福祉大 立松英子教授	みらい	22
5月31日	教材の説明と実際の手順	東京福祉大 立松英子教授	みらい	22
7月5日	事業所ごとの研究・研修発表	社会福祉法人はーとわーく	みらい	21
9月13日	同 上	NPO 法人セサミ	みらい	20
10月4日	同 上	NPO 法人わんぱくひろば	みらい	20
11月1日	同 上	NPO 法人あんだんて	みらい	20
12月6日	同 上	多機能型事業所つばさ	みらい	18

注) 参加法人(事業所)は、次のとおりです。

障害者多機能型事業所つばさ・NPO法人あんだんて(学童クラブキャンパス、学童クラブぼるか)・NPO法人セサミ(セサミふれんず、セサミすまいる)・NPO法人わんぱくひろば・社会福祉法人はーとわーく(ふれも、みらい)

## 3. 内部研修

日 時	内 容	場 所
4月14日 10～12 (4月15日 10～12)	<input type="checkbox"/> 一般研修：交通安全(交通安全協会・群馬総合保険事務所) <input type="checkbox"/> 同行援護研修：同行援護に関する意見交換	みらい みらい
5月16日 10～12 (5月18日 10～11)	<input type="checkbox"/> 一般研修：口腔ケア(県歯科医師会 歯科衛生士) <input type="checkbox"/> 同行援護研修：食事支援の基礎	ふれも みらい
6月11日 10～12	<input type="checkbox"/> 一般研修：障害特性を活かした支援(ボーリング大会) <input type="checkbox"/> 同行援護研修：排泄介助	エメラルドボール
7月13日 10～12 (7月14日 10～11)	<input type="checkbox"/> 一般研修：食中毒の予防方法について(前橋市衛生検査課) <input type="checkbox"/> 同行援護研修：窓口やカウンターでの支援	みらい みらい
8月10日 10～12 (8月19日 10～11)	<input type="checkbox"/> 一般研修：介護技術について <input type="checkbox"/> 同行援護研修：通院介助について	みらい みらい
9月15日 10～12 (9月16日 10～11)	<input type="checkbox"/> 一般研修：防災訓練(前橋消防署職員) <input type="checkbox"/> 同行援護研修：通院介助について	ふれも みらい
10月14日 10～12 (10月18日 10～12)	<input type="checkbox"/> 一般研修：障害者虐待防止(群馬県障害者権利擁護センター相談員) <input type="checkbox"/> 同行援護研修：雨や雪の日の支援について	みらい みらい
11月14日 10～12 (11月18日 10～11)	<input type="checkbox"/> 一般研修：感染症について(群馬県衛生環境研究所) <input type="checkbox"/> 同行援護研修：金銭やカードの取扱について	みらい みらい
12月13日 10～12 (12月14日 10～11)	<input type="checkbox"/> 一般研修：困難事例について <input type="checkbox"/> 同行援護研修：病院、薬局での支援	みらい みらい
1月18日 10～12 (1月19日 10～12)	<input type="checkbox"/> 一般研修：接遇について <input type="checkbox"/> 同行援護研修：会議や式典、研修に同席するときの支援	みらい みらい
2月16日 10～12 (2月22日 10～11)	<input type="checkbox"/> 一般研修：利用者向けのリラクゼーションと職員向けのストレッチ <input type="checkbox"/> 同行援護研修：冠婚葬祭での支援	みらい みらい
3月14日 10～11 (3月17日 10～11)	<input type="checkbox"/> 一般研修：救命救急(大根消防署) <input type="checkbox"/> 同行援護研修：盲導犬ユーザーへの対応	みらい みらい

注) 日時の下段の( )は、当初の研修会に出席できなかった職員を対象に実施した代替研修の日時です。

★今年度はほのぞみの園より専門職員を派遣していただき、行動障害のある利用者の支援の実態を観察した後に支援全体についてアドバイスをいただきました。

#### 4. 他事業所（施設）の研修見学

期 日	事業所（施設）名	参加役職員
7月25日	社会福祉法人青葉会（千葉県柏市）	3
8月17日	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園	2
8月30日	社会福祉法人深山黎明会 らいず（生活介護事業所）	2
2月6日	社会福祉法人二之沢愛育会 のどか（生活介護事業所）	3
2月8日	社会福祉法人深山黎明会 らいず（生活介護事業所）	3
2月13日	社会福祉法人深山黎明会 らいず（生活介護事業所）	4
2月15日	社福法人玉村町社会福祉協議会 のばら（生活介護事業所）	3
2月21日	社会福祉法人二之沢愛育会 のどか（生活介護事業所）	3